

(様式1)

平成27年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） 161	提案機関名 かながわ西湘農業協同組合
要望問題名 ほ場での竹の生育抑制方法について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 ・山間地では特に、労働力不足や立地条件により農作業の手の届かないほ場が増えています。その中で、農産物を生産のため管理しているほ場に竹が繁殖し、生産意欲を低下させている。そのため少しでも、竹の繁殖を軽減し、生産意欲を維持させたいため、近年における竹の抑制方法を提案願いたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	北相地区事務所研究課 生産技術部果樹花き研究課
対応区分	①実施    ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応    ⑦実施不可		
試験研究課題名    (①、②、④の場合)			
対応の内容等 ご要望のタケ生育抑制に関しましては、利用及び駆除の二面からのアプローチがあります。 利用については、タケノコ及び（木）材として適切に利用を推進するもので、それによりタケの生育を調整することにもつながります。 また、竹の繁殖抑制方法としては、①地上部を伐採後、地下茎を重機で除去する、②夏期に皆伐して、その後生えてくるものを切り、最終的に除草剤散布で枯らす、③グリホサート系除草剤の竹稈注入処理（ドリルで穴を開けて10ml注入）を夏期に行う、④地下茎の侵入防止対策をするなどがあります。 当所では、地下茎の侵入防止対策として試験ほ場との境界線に溝を掘り、波板等を敷設するとともに継続的に刈り払い作業を実施しています。しかし、土壌流亡抑制の観点から隣接する藪の整地は大変難しいのが実情です。 このようにタケについては、ほ場での駆除並びほ場周辺の状況に即した対応が重要ですので、お近くの農業技術センターにご相談ください。			
解決予定年限	① 1年以内    ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内		
備考			